

吉田元彦 先生

Yoshida Morohiko

兵庫県・私立姫路女学院中学校・高校

身につけた教養を、
国際社会でも
発揮できるように

心の教育を重視してきた本校は、礼儀作法や言葉遣いなどを学ぶ学校設定教科「教養」を通して、生徒に豊かな人間性を育んできました。2020年度に兵庫県播磨高校から姫路女学院高校へ校名を変更し、21年度、創立100周年を迎えました。まさに次の一歩を踏み出した本校が、心の教育を根幹に据え、変化に対応する力を育むため、力を入れているのが、リベラルアーツ教育と国際教育です。リベラルアーツ教育では、隔週土曜日に「リベラルアーツ・デー」を設け、SDGsを題材にしたグループ討議や、

外部講師を招いた少人数のゼミ形式の授業を集中的に実施し、社会課題に触れながら、その背景にある多様性の理解を深めています。また、国際教育では、オールイングリッシュの授業や、海外姉妹校との交流などを通じて、グロー

バルな視野とコミュニケーション能力を育成しています。そうした教育活動とともに、「なぜ?」「何のために?」と本質に迫る問いを生徒に繰り返し投げかけたり、立ち止まってから挨拶をする「停止礼」を教師も徹底したりすることが生徒の成長を促します。

先日、1人の生徒が、「近所の方に停止礼をしたら驚かれました。学校の外で実践してもよいのですか」と質問してきました。私は、「身につけた力が本物なら、国境をも越えて相手の心に届く」と、2年前に国連本部を訪問した生徒が停止礼を行った際に、ドイツの外交官に感動された逸話を交えて答えました。身につけた資質・能力を、社会で堂々と発揮できるようにすることが、生徒の次の一歩だと思えます。



生徒より

1 年生の時は、リベラルアーツ・デーのグループ討議で発言するのは大体同じ人で、議論もうまく進まなかったのですが、2年生になった今は、全員が自分の意見を言うようになりました。また、ALITの先生との会話も、恥ずかしさを感じることがなくなり、自分の考えを正確に伝えることを、意識して話すようになりました。今後は、本校ならではの学びである停止礼などの礼儀作法を、社会に出た時にも自信を持って発揮できるように、磨いていきたいです。

よしだ・もとひこ 教職歴28年。同校に赴任して3年目。教頭。進路部統括部長。国語科、書道科。

兵庫県・私立姫路女学院中学校・高校 全日制／普通科、商業科／女子校／1学年約240人／2021年度入試合格実績(現役のみ)国公立大は、鳥取大、岡山大、神戸市外国語大に3人が合格。私立大は、立命館大、近畿大、甲南大、武庫川女子大などに延べ51人が合格。

お客様サービスセンター

フリーダイヤル 0120-350455 [受付時間] 月～金8:00～18:00/土8:00～17:00(祝日、年末・年始を除く)

株式会社ベネッセコーポレーション岡山本社 〒700-8686 岡山市北区南方3-7-17